

## 機器紹介 安全キャビネット BHC-1307 II A2

設置場所：医学研究科 共同研究教育センター1階 P2実験室

性能：

- ・安全キャビネットは、ウィルスや細菌などを用いた実験において、研究者の安全を確保するために使用するものです。
- ・以前の装置は、経年劣化により規定風量が確保できなくなったことから、更新設置しました。
- ・本機器は室内循環型のモデルです。
- ・作業スペースの上部から、HEPAフィルターにより清浄化された空気が下に向かって吹き出しており、培養細胞などの取り扱いができます。
- ・風速は常にモニターされています。また、腕を入れる開口部が一般的な機種に比べて広く、実験操作がしやすいことが特徴です。
- ・クリーンベンチは、研究者に向かって内部の風が吹き出す構造のため、安全キャビネットとは異なります。



人間文化研究科 中川教授が  
共用機器を活用した論文を発表

## 共用機器を活用した研究成果について

共用機器を活用した研究成果の情報を総合ウェブサイトに公開しています。

名古屋市立大学トップ > 図書館・病院・附属施設 > 附属施設 > 共用機器センター  
共用機器を活用した研究を行い、論文等でその研究成果を発表する際は、下記を参考に共用機器を利用した旨を記載してください。

○英文

"We acknowledge the assistance of the Research Equipment Sharing Center at the Nagoya City University."

論文や印刷物の写し(pdfデータ等)を、共用機器センターに送付してください。

現在180機器が  
共用機器に登録  
されています

## 共用機器センター事務局より

文部科学省の「先端研究基盤共用促進事業 (新たな共用システム導入支援プログラム)」の医学研究科・薬学研究科のH31年度継続申請が採択されました。本事業を活用し、H31年度も共用機器の取り組みを推進していきます。

## 問い合わせ

共用機器センター (事務局学術課内)

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

☎ 桜山 8103 (山田)、桜山 8309 (高木)

✉ ncu\_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp